

今月は、埼玉大学の林信二郎先生に、「指導」について巻頭言を書いていたいただきました。ひかり幼稚園の東園長先生には、保育者としてのお立場から「指導は必要か」というテーマで書いていただきました。

何を指導と考えるか、子どもにとって大人と一緒にいること自体、意味があります。大人から「何も言わない」という状況で育つものもあるでしょう。

運動会その他、何かと行事の多いこの時期、活動も充実し、子ども達はどこどん力をたくわえていきます。毎日の生活の中で、保育者は何を指導し、何を育てるのか、しっかりと見極めてほしいと思います。

先日、花屋さんに立ち寄った時のことです。たくさんのお花々の香りの中に、なつかしいバラの香りに気づき、その匂いに刺激されてか、幼い頃を思い出ししまいました。

たしか、我が家にも、父の仕事場にも又、通っていた幼稚園にも白いバラの垣根やアーチがあり、このなつかしい匂いに囲まれていたように思います。そのバラの香りと一緒に、ブランコに揺れながら見た青い空や、明るく陽ざしまで、思い出されてしまいました。子どもの頃の思い出が「匂い」につつまれているのも不思議なものです。

今の私たちのまわりには「香り」がふれています。「匂い」も「臭い」も、いっばいです。食べ物にしても、最近はやりのハーブやポプリにしても、イヤな感じはしません、たくさんありすぎて感覚がマヒしてしまいそうです。一番困るのが芳香剤と称する匂いのおしつけ。こんな環境で生活している子どもたちにも、やはり「匂い」に包まれた思い出ができるでしょう。大人になってにぶくなってしまった私たちにはわからない、鋭い感覚をもっている子ども達だから。

(K)

幼児の教育 第八十八巻 第十号

十月号 ©

定価 四一〇円（本体三九八円）

平成元年 九月二十五日 印刷

平成元年 十月一日 発行

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 本 田 和 子
発行人

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都港区三田五ノ二二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一九六四〇番
TEL・〇三二九二二七七八一

◎本誌御購読についての御注文は発売所 フレーベル館にお願いいたします